

いちにちをふりかえりながら、
かくことをたのしみましょう！

4月23日(木)

だんらくは2つか3つにする

けさも、7じはんすぎにこどもといっしょにトレーニングにでかけました。こどもはいつものこうえんまではしっていきます。マスクではしるこどもは、とてもつらそうです。わたしはこどものスピードについていけないので、じてんしゃです。いっしょにはしれないので、すこしかなしいです。でも、つめた
いかげがほおにあると、さわやかなきもちになります。

おもったことを
くわしくかく

いつものこうえんでは、こどもはサッカーのれんしゅうをしたりしています。わたしはそれをみていますが、こどものすがただけをみているわけではありません。いつもおなじじかんにくるおじいさんをみるのが好きです。おじいさんは、まいにちはとにえさをあげています。だから、おなじころにはとがおじいさんをまっています。ちいさくまとまってまつはとをみていると、おじいさんがかっているみたいだなあ、とおもいます。きょうもおじいさんをみるのをたのしみにしていましたが、おじいさんはいませんでした。はなしたこともないしらないおじいさんですが、しんぱいになりました。いつもよりこうえんにつくのがおそくなったからだ、とおもうことにしました。わたしは、そらを見あげて、「あしたはおじいさんにあえますように」とおねがいしました。くもひとつないきれいなそらは、「あしたはおじいさんにあえるよ」といっているよう
にみえました。そらが、すがすがしいさわやかなきもちにさせてくれました。

じょうきょうをくわしくかく

あしたは、はれたそらのしたでおじいさんにあえるきがしました。

あったことをつぎつぎとかいていくのではなく、ひとつのできごとについてふかくかきましよう！